



Air Ring®

どんな空間も、 いま居る場所を心地よく



Air Ring®

どんな空間も、いま居る場所を心地よく

洗練されたデザインと、吹出口としての性能を両立。 中パン部分をフラットに、そして外コーンの立ち上がりを極力抑えることで、 従来の性能はそのままに、これまでにない新しいカタチをつくりました。



ARKP-150



ARKP-250

洗練されたデザインと、 吹出口としての性能を両立

■ DESIGN シンプルを追求した ありそうでなかったカタチ



■ SPACE あらゆる居住空間に溶け込む まったく新しいスタンダード



■ AIR 広範囲に、静かに、 それでいて心地よい風



ARKP-150 (実寸大)

シンプルを追求した ありそうでなかったカタチ

居住空間の中でもっとも大切なことは、空間の心地よさ。

Air Ring®は通常のシーリングディフューザーの性能はそのままに、デザインを再設計。 空間の美しさをさらに高め、性能とデザインの両面で「心地よさ」を追求した、 まったく新しい吹出口です。



空間を引き締める、磨き上げられたフォルム

エッジ部分の立ち上がりを極力低くした外コーン、膨らみを排除したフラットな中パン。 天井開口部からの露出部分を少なくすることで、天井との一体感を増したその造形は、 内装デザインを邪魔することなく、どんな空間にも馴染みます。 ※工業所有権出願中



エッジの立ち上がりを抑えた外コーン

外コーン内側の高さは通常のシーリン グディフューザーと同一でありながら、 エッジの立ち上がりを極力低く抑え、 さらにエッジ幅 15mm を実現。 通常品 と同等の強度を保ちつつ、デザイン性 を向上させました。





※いずれもφ250で比較

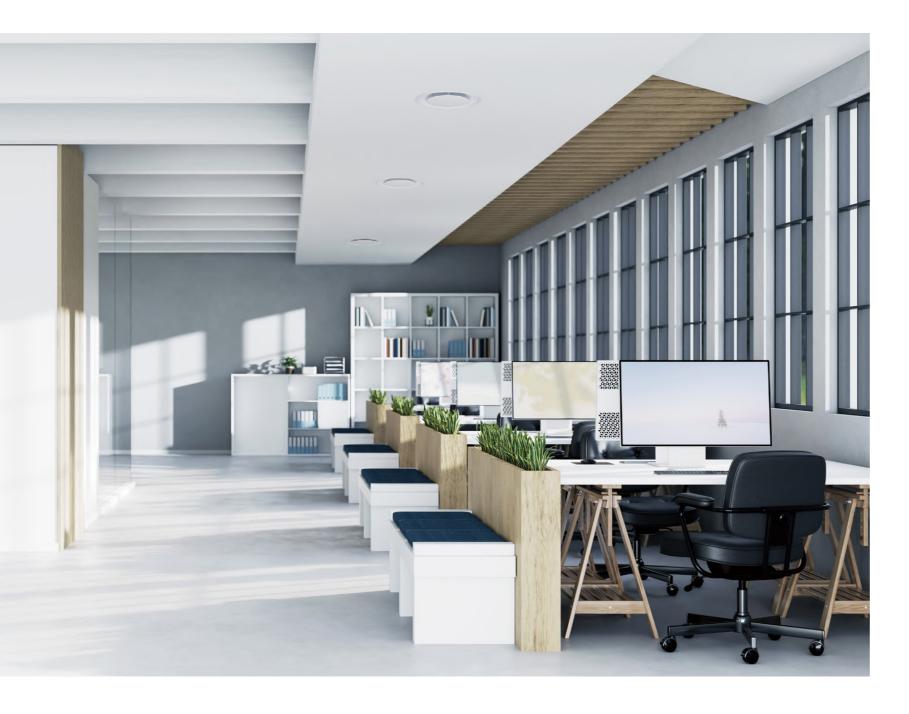
歪みのないフラットな中パン

フラット形状にしたことで強度的に 懸念のあった中パンは、板厚を上げる ことで歪みの心配を解消。膨らみの 無いAir Ring®は空間全体をスマート な印象へと押し上げます。



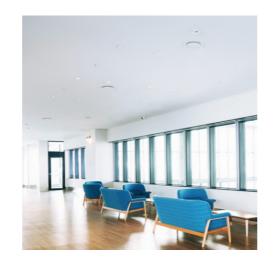


※いずれもφ250で比較



あらゆる居住空間に溶け込む まったく新しいスタンダード

Air Ring®は天井開口部にきれいに収まり、 空間そのものの美しさを、より引き立たせてくれます。 空調と意匠を調和させる Air Ring® は、 シーリングディフューザーのまったく新しいスタンダードです。



設置場所を選ばない意匠性

外エッジの立ち上がりが低い Air Ring®は、これまで認識されてきた吹出口とは異なり、天井ラインとの凹凸を限りなく抑えたことで、天井との一体感を実現しています。さらに、ミニマルなデザインを追求して設計したことで、空間のテーマや雰囲気を乱すことなくあらゆる場所に溶け込みます。





リノベーション時の工期とコストを抑える

従来の施工は、美観を考慮すると主にライン形への変更が主流であり、天井内の納まり、天井の穴埋めや開口、ダクト工事が必要で工期とコストが悩みの種でした。しかし、リノベーション時に Air Ring®を採用することで、既存の天井開口位置を使用するため、工期とコストを抑えながら、すっきりとした空間を実現します。

	従来のリノベーション	Air Ring®を採用した リノベーション 既存の開口位置を利用しつつ、 意匠性を損なわない			
	選択肢として、 ほぼライン形への変更になってしまう				
元の位置の天井穴埋め	必要	容易			
移動先の天井開口	必要	不要			
ダクトの塗り替え	必要	不要			
天井内の納まり検討	必要	不要			
工期	長い	短い			
コスト	高い	低い			

広範囲に、静かに、 それでいて心地よい風

従来のシーリングディフューザーの性能はそのままに、

Air Ring®は広範囲に静かに快適な風を届け、あらゆる空間の心地よさを高めます。

季節や環境を問わず、空間全体の空調吹出口と意匠の一体感を実現します。



2段階の風向調整

冷房使用時は中パンを手動で下げることで気流が水平方向に吹き出し、冷たい空気が 天井面から下降し部屋全体に広がります。また、暖房使用時には中パンを引き上げるこ とで気流が垂直方向に吹き出し、床面から暖かい空気が上昇し部屋全体に広がります。





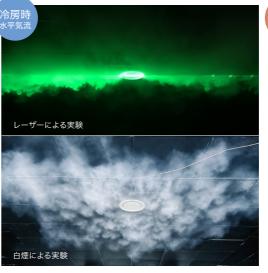


使用シーンに合わせて2サイズを展開

Air Ring®は用途に合わせてネック寸法 ϕ 250と ϕ 150 の2 サイズをご用意しています。大ホールなどの大空間には吹出口の設置台数を減らしつつ風量処理が行える大きいサイズの ϕ 250を、ミーティングスペースなどの小さな空間には気流の拡散性を上げるために小さいサイズの ϕ 150を用います。また、 ϕ 250については既存のシーリングディフューザー等が使用されている商業設備の空調機器の更新時にもおすすめです。

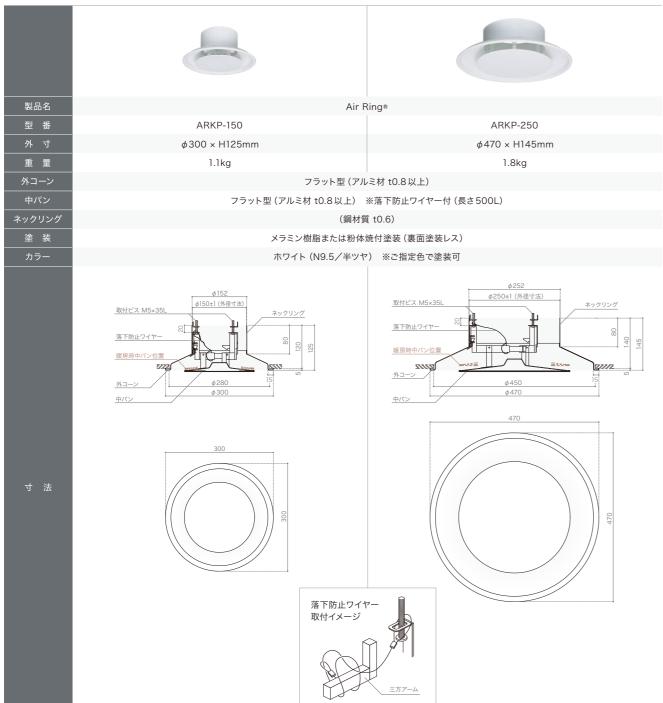








仕様



吹出性能表

※Hは水平吹出、Vは垂直吹出を示し、到達距離は等温吹出時・残風速0.5m/sの位置を示します。

型番	ネック風速	m/s		2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0
ARKP-150	風 量	СМН		131	163	196	228	261	294	326	392
	静圧損失	Pa	Н	8	13	18	25	32	41	51	73
			V	18	28	40	55	72	91	112	161
	拡散半径	m	Н	0.7	0.9	1.1	1.3	1.5	1.7	1.8	2.2
	到達距離	m	V	2.3	2.9	3.5	4.1	4.7	5.2	5.8	7.0
	発生騒音	dB (A)	Н	20以下	20以下	25	30	34	38	41	46
			V	23	28	33	37	40	43	46	50
ARKP-250	風 量	CMH		359	448	538	628	718	807	897	1076
	静圧損失	Pa	Н	4	7	10	13	17	22	27	39
			V	8	12	18	24	31	40	49	71
	拡散半径	m	Н	1.1	1.4	1.7	2	2.3	2.6	2.9	3.4
	到達距離	m	V	3.2	4	4.8	5.6	6.4	7.2	8	9.6
	発生騒音	dB (A)	Н	20以下	20以下	20以下	25	30	35	39	46
			V	20以下	20以下	23	30	34	38	42	49

総販売元



will 空研工業株式会社

本 社 〒81	10-0051 福岡県福岡市中央	区大濠公園 2-39	Tel.092-741-5031	Fax.092-741-5122
仙台支店 〒98	30-0021 宮城県仙台市青葉	区中央2-9-27	Tel.022-261-2530	Fax.022-261-2571
東京支店 〒10	05-0014 東京都港区芝3-8	-2	Tel.03-6861-2400	Fax.03-6861-2410
名古屋支店 〒46	60-0002 愛知県名古屋市中	区丸の内3-23-8	Tel.052-953-3100	Fax.052-953-1721
大阪支店 〒55	50-0004 大阪府大阪市西区	[靱本町1-11-7	Tel.06-6449-6201	Fax.06-6449-6205
広島支店 〒73	30-0041 広島県広島市中区	小町3-17	Tel.082-546-2590	Fax.082-546-2591
福岡支店 〒81	10-0051 福岡県福岡市中央	·区大濠公園 2-39	Tel.092-741-5034	Fax.092-741-5030
冷熱福岡支店 〒81	10-0051 福岡県福岡市中央	区大濠公園 2-39	Tel.092-741-5033	Fax.092-781-8156
冷熱熊本支店 〒86	60-0834 熊本県熊本市南区	江越 1-25-20	Tel.096-243-7666	Fax.096-243-7500
冷熱長崎支店 〒85	50-0862 長崎県長崎市出島	町 1-14	Tel.095-811-3117	Fax.095-811-3120
札幌営業所 〒06	60-0042 北海道札幌市中央	区大通西11-4-21	Tel.011-215-1880	Fax.011-215-1887
工 事 部 〒81	19-0005 福岡県福岡市西区	内浜 2-4-38	Tel.092-707-6691	Fax.092-707-6692
福岡工場 〒82	23-0013 福岡県宮若市芹田	1586	Tel.0949-32-1212	Fax.0949-32-1217
千葉工場 〒26	65-0045 千葉県千葉市若葉	区上泉町 958-47	Tel.043-309-6510	Fax.043-309-6515

URL https://www.kuken.com E-mail honbu@kuken.com

製造元



空調技研工業株式会社

本 社・工 場 〒819-1321 福岡県糸島市志摩小富士968 Tel.092-328-1377 Fax.092-328-1200 千 葉 工 場 〒265-0045 千葉県千葉市若葉区上泉町958-47 Tel.043-235-8792 Fax.043-235-8798

安全に関するご注意

●三方アームの掛位置を上段にすることで垂直吹出、下段にすることで水平吹出の切替ができますが、その際には中パンを両手で持ち 回転させて取り付けてください。 ●三方アームの掛位置を変更する際に必要以上の負荷をかけると変形・破損の原因となりますので ご注意ください。 ●清掃や吹出気流方向切替を行った際には、中パンを軽く引き下げて、掛金具に確実に固定されているか確認して ください。 ●搬入時や取付時に中パンに凹みや汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。 ●落下防止ワイヤーはイメージ図 の通り確実に取り付けてください。 ●保温材を貼り付ける際は強く押し付けると変形・破損の原因になりますのでご注意ください。

その他のご注意

●写真は撮影条件、印刷インキの特性などから実際の色とは異なる可能性があります。●本カタログに記載された内容は、製品 改良のため予告なく変更する場合がございますので図面等でご確認ください。 ●本カタログに記載された内容の無断転載は固く お断りします。